



# 「消防学校ニュース」

とうとう  
...  
やってきました



## 初任科第87期 完結！編



平成 29 年 9 月 29 日発行



修了式を翌週に控えた9月13日(水)、14日(木)の2日間にわたり、初任科生たちは更なる知識の習得を目指して校外研修に出掛けました。



### いざ出発！校外研修へ…目指すは東京！



東京へと向かうバスの車窓から富士山の雄姿が望めました



学校での出発式

はしご作成の過程や車両ぎ装の手順等について丁寧に説明してもらいました。



日本機械工業(株)  
本社工場  
(八王子市)



ポンプ車やはしご車をはじめ、あらゆる消防車両を生産するメーカーで、製造過程を見学できる工場です。ぎ装途中の車両見学では、浜松ナンバーの車両を見つけました。



世界最大規模を誇る東京消防庁。その中でもハイパーレスキューを有する第八方面本部を見学しました。

東京消防庁  
第八消防方面本部  
(立川市)



「真剣に聞く気持ちがなければ帰ってよい！」という言葉からレスキュー隊員の挨拶が始まりました。瞬間、背筋とともに、ピリッと張り詰めた空気となりました。



大型の消防車両を紹介してもらいました。中には、東日本大震災で活躍したという車両もありました。



センター内の物質安全研究棟では、防火服の研究が大変興味深かったです。



消防研究センター  
(調布市)

センター内の総合消火研究棟です。規模の大きさに圧倒されました。



総務省消防庁消防大学校に設置された機関で、消防防災に関する研究開発や、全国で発生する火災、危険物流失事故等の原因調査等を行う、わが国唯一の消防防災に関する総合的研究機関です。



宿泊したホテルでお洒落な朝食をおしゃれに(?)いただきました。さあ、2日目です。



東京消防庁の総合指令室を見学しました。指令室内で、車両動態等を説明してもらいました。

東京消防庁  
警防部総合指令室  
(千代田区大手町)



警視庁見学記念

日本の首都、東京の安全を守る警視庁本部を見学しました。

警視庁本部  
(千代田区霞ヶ関)

展示コーナーで記念写真。ついでにマスコットキャラクター「ビーボくん」と握手。



東京消防庁  
消防博物館  
(新宿区四谷)



消防の歴史と活動に関する資料等が展示されています。現在までの消防の歩み等を研修できます。

われら精鋭部隊！ ⑦  
【教官紹介コーナー】

主査 諸星 大輔 (駿東伊豆消防本部から派遣)



4月の入校式から始まった初任科第87期も、あっという間に修了式を迎えました。108名の学生の泣き顔、笑顔が走馬灯のように蘇ります。

担当した「校外研修」では、訪問先の各施設で真剣に話を聞く学生の姿を見ることができました。“修学旅行にならないように”という学校側の気持ちが通じたようです。

修了式ではピアノの伴奏をさせていただきました(少し失敗)。第87期修了生の諸君、初志貫徹！これからも頑張れ！

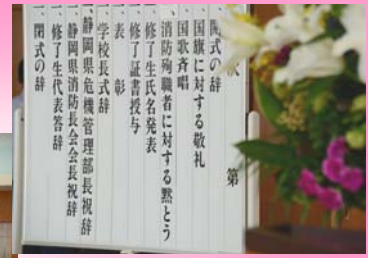
努力家(座学・実科訓練・体力練成の準備は抜きなし…少々オーバーペースで体が悲鳴?)であり、音楽家(消防学校のショパン?リスト?)である派遣1年目の教官。職員室へ入る学生にとっては大きな“関所”的存在(入室要領指導担当&大きな体)で、一時期“消防学校のプーさん”と呼ばれていたとか、いないとか…現在は随分と精悍な体つきになっています。







# そして 9月22日… 修了式当日



初任科第 87 期クラス担任  
【1組】  
佐野 将則 (富士宮) [右]  
【2組】  
酒井 良憲 (静岡) [中]  
【3組】  
河本 行永 (静岡) [左]  
… クラス毎修了生氏名を発表



初任科第 87 期  
【担任】  
伊勢 伸康 (志太) [左]  
【副担任】  
園部 元康 (駿東伊豆) [右]  
… 二人で式の進行を担当

本校の桜が咲き始めた本年4月5日、大きな希望と一抹の不安を胸に入校してきた初任科第87期生も、9月22日、晴れの修了式を迎えました。

約半年間、一人前の消防士になるため、本校の校訓「規律の厳守」「技術の練磨」「体力気力の練成」を基本に、基礎的な知識と技術の習得を目指して、時には励まし合い、助け合いながら、皆で頑張ってきました。多数の来賓の皆様、御家族の皆様に見守られながらの108名の修了式です。



## 修了生氏名発表



## 修了証書授与

修了生を代表して、第87期総代の長島 潤(静岡)に対し、学校長から修了証書が授与されました。



## 表彰

教育訓練の成績又は学校生活での活動が特に優秀で、他の学生の模範となる者を表彰します。

### 静岡県危機管理監賞



松下 祐輔 (静岡)

### 静岡県消防長会会長賞



西原 堅斗 (駿東伊豆)

### 静岡県消防学校長



三浦 健司 (下田)  
青木 奏太 (富士山南東)  
大澤 美里仁 (静岡)




### 精励賞



海野 一也 (静岡)  
 坪井 創太 (湖西)  
 山邊 翔太 (駿東伊豆)  
 武市 稜 (浜松)  
 寺本 貴敬 (浜松)

### 努力賞



杉田 健吾 (菊川)  
 長島 潤 (静岡)  
 安藤 優樹 (富士山南東)  
 中澤 夢子 (浜松)  
 中井 栄樹 (静岡)

### 体力賞



青木 奏太 (富士山南東)  
 都竹 翔平 (駿東伊豆)

### 功労賞



長島 潤 (静岡)  
 渡邊 健文 (静岡)  
 小田巻 雅人 (静岡)  
 松下 祐輔 (静岡)

## 学校長式辞



**「本日は新たな出発点」**  
 澤野 岳志 学校長から、  
 「これまで幾多の厳しい訓練を乗り越え、プロの消防士として、消防の最前線へ向かう準備は整ったものと確信している。自信と誇り、厳しさと優しさを兼ね備え、地域の皆さんから信頼され、愛される消防士への成長を願う。」旨の挨拶がありました。

## 静岡県危機管理部長祝辞



杉保 聡正 県危機管理部長、青山 雅行 県消防長会会長 (静岡市消防局長) より、修了生に対して、大いなる期待と力強い励ましの言葉をいただきました。

## 静岡県消防長会会長祝辞



## 修了生代表 答辞



初任科第87期 総代  
**長島 潤** (静岡市消防局)



(校長要約版)

平成 29 年4月5日早朝、各所属へ集合、消防学校へ出発。重い空気、緊張感…。最初の難関、何度もやり直した入校受付、入寮受付。  
 慣れない環境、厳しい訓練、時間に追われる日々…。悪戦苦闘…。教官たちの怒号が飛び交う毎日。更なる追い討ちは、「通常点検」の開始、「非常呼集」の笛。災害時には“避難”ではなく、“活動”に当たるという使命感。  
 5月、第1回野外訓練。約 20 キロの荷物を背負って、浜石岳の頂上を目指す。達成感と充実感、そして仲間の大切さ。  
 6月、救助大会。先輩方の技術、速さに圧倒される。その中で、これまでで最高の体力向上体操を披露。  
 7月、各所属での実務研修。違う緊張感の中、持てる力すべてを発揮。しかし、能力、技量の違い…このままではいけないという自覚。  
 8月、第2回野外訓練。十分な休息、栄養が取れないまま夜間歩行訓練。途中離脱してしまった学生の計り知れない悔しさも一緒に背負い、歩き続ける。足を引き摺りながら学校の門をくぐった瞬間の達成感。  
 訓練の集大成である実科査閲。今までにない集中力と団結力で、大きく成長した姿を披露。“雨にも負けない”消防士になったか…。  
 幾度とない苦しく辛い思い、逃げ出さなくなったり、挫折しそうになったり…。  
 そんな時、共に悩み苦しむ仲間の姿。手を取り合い、声を掛け合い、肩を叩き合いながら、ここまで乗り越えてくることができた。私達の間には「絆」が生まれ、互いに信頼しあう仲間となった。  
 今の私達があるのは、教官方の熱い指導があったからこそ … 108 人全員が実感し、感謝！  
 87 期のテーマ「初志貫徹」を胸に、すべては国民のために全力で働いて貢献！





修了式を終えて…



# 教官と学生達との最後の時間



… 校長、副校長、来賓の各消防長の皆さんなどが知らない世界です

クラス毎に  
担任教官から  
修了生一人ひとりに  
修了証書が渡されました。



## 皆で大合唱!!

## 栄光の架橋



#



b



【ピアノ伴奏】 主査 諸星 大輔(駿東伊豆) 【指揮】 主査 宍井 一滋(湖西)



教官達が  
修了生一人ひとり  
を見送りました。



## 「初任科第 87 期を終えて」



消防学校の教育訓練及び消防行政の根幹となる初任教育初任科のチーフ教官を経験することができたことは、自分にとってかけがえのない財産となった。周りの職員をサポートを受け、職員一丸となって初任教育に専念することができた。心から感謝したい。

さて、修了生は半年間の教育訓練を終え、心新たにそれぞれの所属へ巣立っていった。本当に良く頑張ったと思う気持ちと、まだまだ訓練指導をと思う気持ちがある。これからは初任科で学んだ基礎とスキルをベースに、より精悍な消防職員となるよう日々精進して欲しい。

それぞれの消防人生において、すべては国民のために、「初志貫徹」を忘れずに頑張れ!!

主査 伊勢 伸康 (志太消防本部から派遣)